

景観計画改定に向けた取り組みについて

はじめに

鳥取市景観計画改定に向けた令和5年度の取り組みについて報告します。

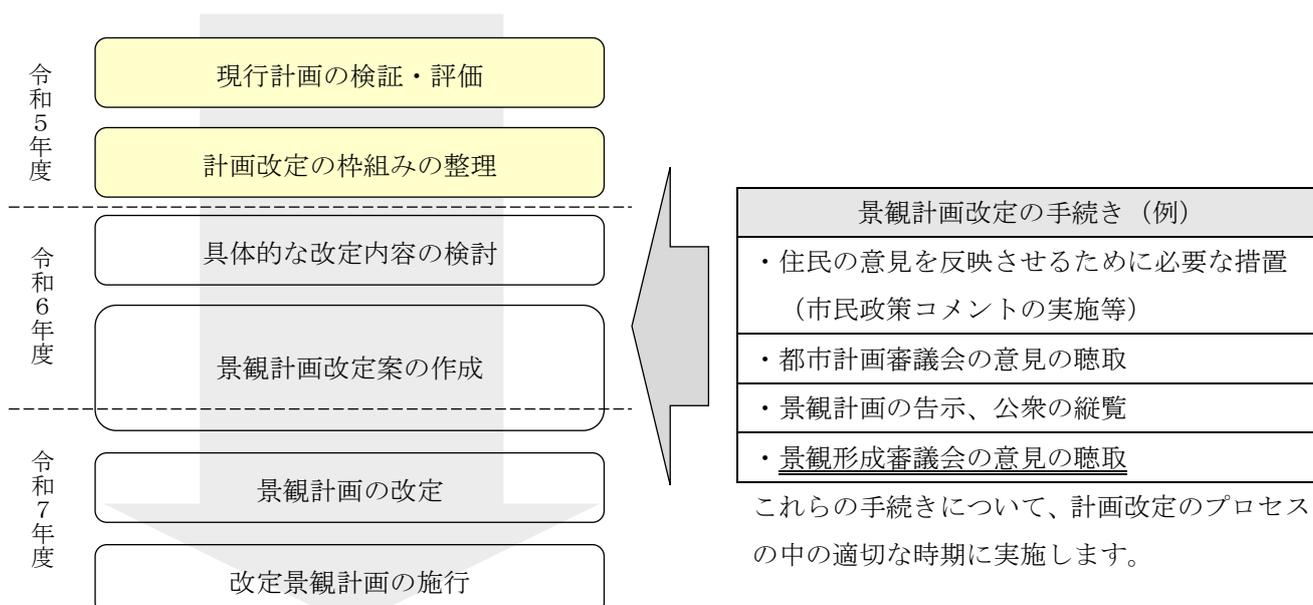
1. 鳥取市景観行政の経過

種別			制定内容
条例	平成12年	第44号	鳥取市景観形成条例の制定（自主条例）
法	平成16年		景観法の制定
—	平成18年		鳥取市が「景観行政団体」となる
条例	平成20年	第9号	鳥取市景観形成条例の制定
告示	平成20年	第131号	鳥取市景観計画の策定
告示	平成24年	第431号	鳥取市屋外広告物条例施行に伴う鳥取市景観計画の変更（公共サインガイドライン推進を含む）

2. 景観計画改定の背景

平成20年に策定した鳥取市景観計画に基づき、地域の特性を活かした良好な景観の保全・創出を推進してきましたが、景観計画の策定から15年が経過しており、社会情勢の変化や市の方針、市民の意向の変化等により、景観行政をとりまく環境も大きく変化しています。これらの変化に対応していくため、景観計画の改定が必要だと考えます。

3. 景観計画改定のプロセス



令和7年度の景観計画の改定を目指します。

4. 鳥取市景観の現状調査と課題把握の実施

本市の景観の現状を調査することにより現行計画においてどのような課題が生じているか整理することを目的に、施策の進捗、実際の景観の変化、景観への意識や行動の変化等について次のとおり調査を実施しました。

4-1. 景観法に基づく届出等の実績【別添1】

【調査概要】

鳥取市景観形成条例で定める規模要件に該当する行為を行う場合、景観法に基づく届出（国の機関または地方公共団体が行う場合は通知）が必要です。平成20年度から令和4年度までの届出等の件数を集計しました。

【調査結果】

平成20年度から令和4年度までで合計1,006件、年間平均約70件程度の届出がされました。行為地の区域別では全体の約80%程度が市域全域（重点区域を除く）に対する届出、行為の種類別では全体の約60%程度が工作物に対する届出でした。その中でも令和2年度は工作物に対する届出件数が特段多く、その86%が携帯電話無線基地局新設に対する届出です。また、景観計画策定時には想定されていなかった太陽光発電設備、風力発電設備等の再生可能エネルギー施設に対する届出件数が増加しています。

【現行計画の課題】

- 景観計画策定時には想定されていなかった工作物に対する届出があるが、景観形成の方針が規定されていない。

4-2. 景観の変化の把握【別添2】

【調査概要】

景観計画の中で示されている写真について、令和5年度現在の景観との比較を行いました。

【調査結果】

景観誘導の効果を測るためには定点観測の実施が必要だと考えますが、現行の景観計画では定期的な定点観測の実施について定められていません。どの地点についてどのような視点で「良好な景観」について評価するかが不明確であり、景観誘導の効果を測るには、今回実施した変化の把握では不十分であると考えます。

【現行計画の課題】

- 鳥取市における「良好な景観」とはどのような姿であるか考える場が必要であり、審議の場の提供やワークショップの実施等手法の検討が必要。

4-3. 景観に関するアンケート調査【別添3】

【調査概要】

次のとおり景観に関するアンケート調査を実施しました。アンケート内容は、属性に関する設問以外は共通の設問としています。別添3は一部抜粋した参考資料であり、令和5年度鳥取市広報モニターアンケート調査結果、LINEアンケート調査結果の全文については、鳥取市公式ウェブサイトにて公開しています。事業者アンケートについては、調査にご協力いただきました関係団体へ調査結果を報告する予定としています。

・令和5年度鳥取市広報モニターアンケート

鳥取市内在住者の中から鳥取市が任命した「令和5年度鳥取市広報モニター」を対象にアンケート調査を実施しました。

回答者数87人（調査対象者数102人、回答率85%）

・LINEアンケート

鳥取市公式LINE登録者を対象に、LINEアンケートによる調査を実施しました。

回答者数715人（調査対象者数24,258人、回答率2.9%）

・事業者アンケート

景観・街づくりへの関連性の高い、また専門性の高い関係団体を通して、事業者アンケート調査を実施しました。

調査対象者：関係団体（鳥取県建築士会、鳥取県宅地建物取引業協会、鳥取県造園建設業協会、鳥取県広告美術業協同組合、鳥取商工会議所）の役員

（代表者、代表者の代理となる者以外の役員については、本社の所在地が鳥取市内にある事業者に限る）

回答者数35人（調査対象者数95人、回答率約37%）

【調査結果】

今回行ったアンケートは対象者が限定的で、また対象者により回答の傾向が異なる結果となり、課題を抽出するためには十分な意見集約ができなかったと考えます。今後、アンケート調査の再度実施を検討するなどにより、より多くの意見を集約したうえで、専門家の意見等も伺いながら課題抽出する必要があると考えます。

【現行計画の課題】

- 市民の意見を集約するための手法について調査研究し、より多くの意見を集約したうえでの課題抽出が必要...
- より多くの意見を集約するためには、景観づくりに関する広報や情報発信、住民参加の場の提供などにより、景観意識の醸成が必要...

5. 今後の予定

令和6年度以降、引き続き課題の抽出、調査研究を行い景観計画改定の方針を検討していきます。

景観法に基づく届出及び通知件数の検証

①区域別届出、通知件数

表1 区域別届出、通知件数

年度	届出、通知件数					合計
	景観形成重点区域				市域全域 (重点区域を除く)	
	久松山山系	湖山池	因幡白兔	鹿野城下町		
平成20年	0	0	0	0	17	17
平成21年	6	4	3	0	43	56
平成22年	5	10	0	0	64	79
平成23年	5	4	2	0	55	66
平成24年	8	5	1	0	62	76
平成25年	8	2	0	0	54	64
平成26年	7	3	2	0	34	46
平成27年	10	5	0	2	53	70
平成28年	8	0	0	0	57	65
平成29年	9	5	1	0	32	47
平成30年	10	0	0	0	58	68
令和元年	5	3	0	0	59	67
令和2年	3	6	5	0	124	138
令和3年	6	1	0	0	52	59
令和4年	6	3	1	0	78	88
合計	96	51	15	2	842	1006

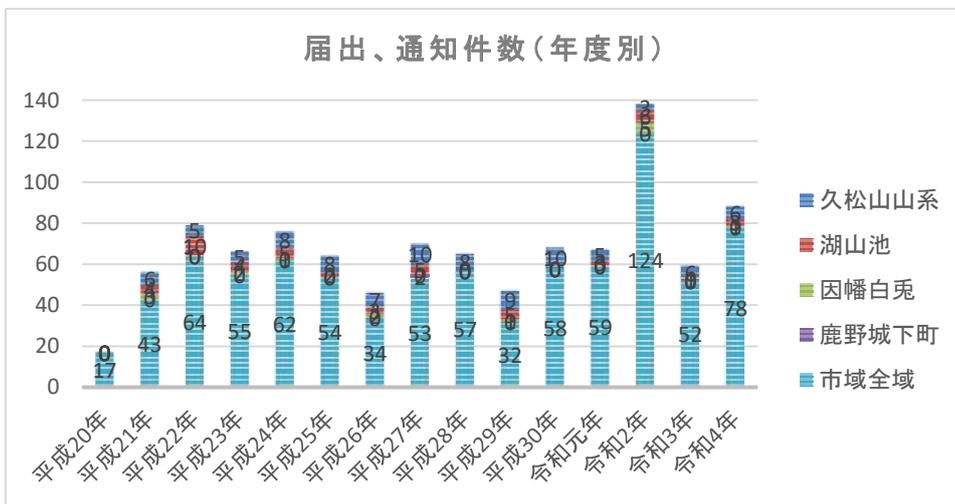


図1 区域別届出、通知件数(年度別)

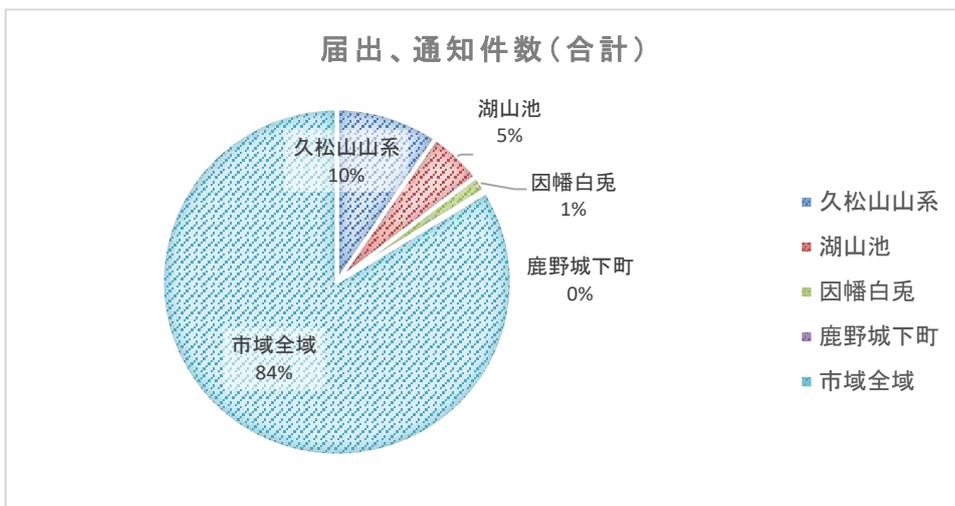


図2 区域別届出、通知件数(合計)

②届出対象行為類型別届出、通知件数

表2 届出対象行為類型別届出、通知件数

年度	届出、通知件数			
	建築物	工作物	開発行為他	合計
平成20年	-	-	-	17
平成21年	10	38	8	56
平成22年	13	60	6	79
平成23年	21	43	2	66
平成24年	31	41	4	76
平成25年	24	38	2	64
平成26年	19	23	4	46
平成27年	35	26	9	70
平成28年	31	23	11	65
平成29年	19	19	9	47
平成30年	24	41	3	68
令和元年	19	43	5	67
令和2年	15	112	11	138
令和3年	19	33	7	59
令和4年	20	60	8	88
合計	300	600	89	1006

※平成20年度 対象行為類型内訳データなし

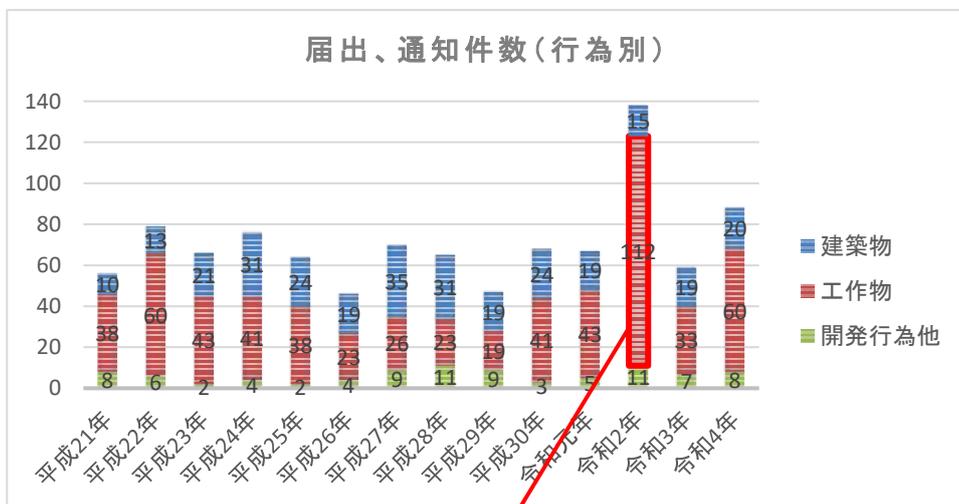


図3 届出対象行為類型別届出、通知件数

表3 令和2年度届出 工作物の用途又は種類の内訳

届出対象行為の用途又は種類	件数	
携帯電話用無線基地局	96	86%
玉型ガスホルダー	1	
落石防止網	1	
太陽光発電パネル	5	4%
柵	1	
送電用鉄塔	2	
送電用架空電線	1	
風力発電設備	4	4%
鉄柱(風況調査用)	1	
合計	112	

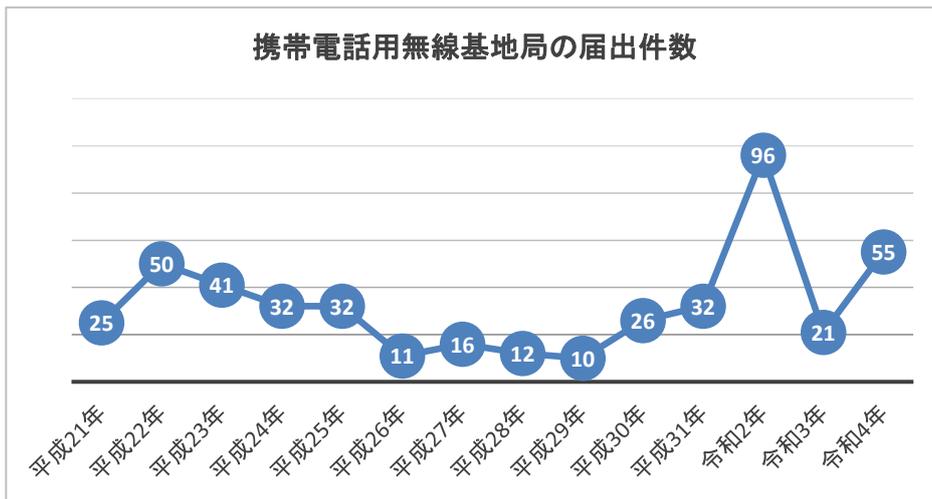


図4 携帯電話無線基地局の届出件数

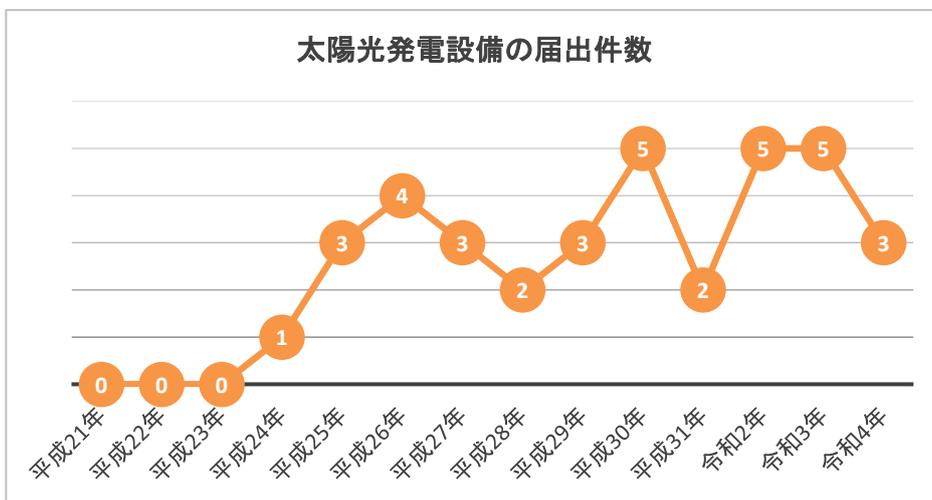


図5 太陽光発電設備の届出件数

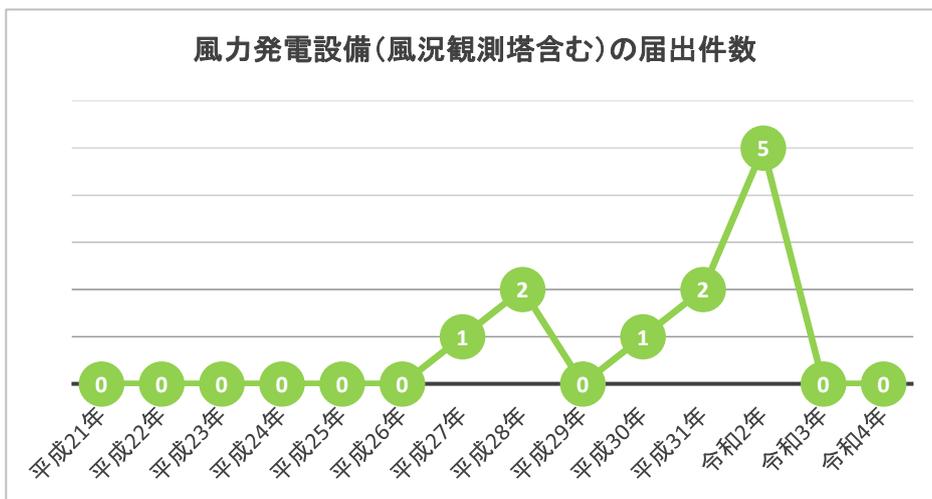


図6 風力発電設備の届出件数

景観の変化の把握

景観要素別の定点観測 (1)

	景観計画策定時の景観 (平成19年)	現在の景観 (令和5年)
①自然緑地景観		
深い緑が織りなす豊かな自然緑地景観について、変化は見られない。		
②水辺景観	湖山池から青島を望む 	
うるおいのある水辺景観について、変化は見られない。		
③歴史的景観	鹿野のまちなみ 	
まちづくり協定書に基づいた住宅の整備や保全活動がされており、景観の変化は見られない。		
④田園景観		
市域郊外に広がるのどかな田園景観について、変化は見られない。		

景観要素別の定点観測（2）

	景観計画策定時の景観（平成19年）	現在の景観（令和5年）
⑤道路景観	智頭橋から北側の智頭街道 	
屋外広告物の撤去等はされているが、景観として大きな変化は見られない。		
⑥住宅地景観	若葉台ニュータウンのまちなみ 	
敷地内の植栽や生垣の設置等が推進されており、緑豊かな住宅地景観に変化は見られない。		
⑦商業業務地景観	中心市街地内の商業施設（飲食街） 	
空き店舗や空き地等により中心市街地の商業地景観が変化している。		
⑧工業地景観	若葉台工業団地内のまちなみ 	
工場が立地する工業地景観について、変化は見られない。		

景観要素別の定点観測（3）

	景観計画策定時の景観（平成19年）	現在の景観（令和5年）
<p>⑨その他景観</p>	<p>吉岡温泉入口周辺のまちなみ</p> 	
<p>看板の撤去や建築物色彩の変更等により景観が変化している。</p>		

地域類別の定点観測（1）

	景観計画策定時の景観（平成19年）	現在の景観（令和5年）
<p>(1) 福部地域</p>	<p>鳥取砂丘周辺の土産物屋</p> 	
	<p>建築物の新築や色彩の変更により、砂丘周辺の景観が変化している。</p>	
<p>(2) 国府地域</p>	<p>自然豊かな袋川の水辺景観</p> 	
	<p>袋川河川敷の豊かな自然を有する水辺景観について変化は見られない。</p>	
<p>(3) 鳥取駅北地域</p>		
	<p>屋外広告物の撤去等により景観が変化している。</p>	
<p>(4) 鳥取駅南地域</p>		
	<p>生産地風景が織りなす広大な田園景観について変化は見られない。</p>	

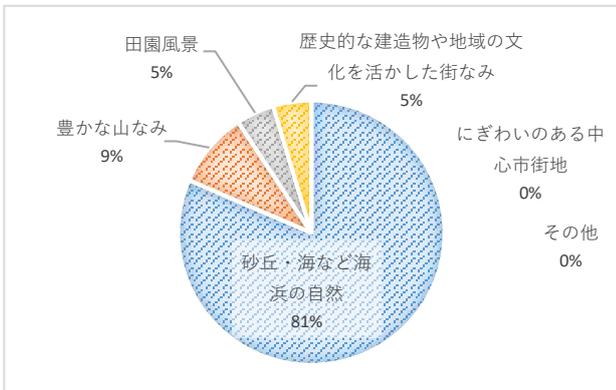
地域類別の定点観測（2）

	景観計画策定時の景観（平成19年）	現在の景観（令和5年）
<p>(5) 湖山池北地域</p>	<p>沿道に面する郊外型店舗群の状況</p> 	
	<p>屋外広告物や建築物の色彩変更等はあるが、景観として大きな変化は見られない。</p>	
<p>(6) 湖山池南地域</p>		
	<p>里山と集落の織りなすのどかな景観について変化は見られない。</p>	
<p>(7) 河原・用瀬・佐治地域</p>	<p>用瀬地域のまちなみ</p> 	
	<p>藩政時代に宿場町として栄えた当時の面影を残した街なみであり、景観の変化は見られない。</p>	
<p>(8) 気高・鹿野・青谷地域</p>	<p>高浜工業団地</p> 	
	<p>地域の北側に位置している工業団地について、景観の変化は見られない。</p>	

アンケート調査結果（一部抜粋）

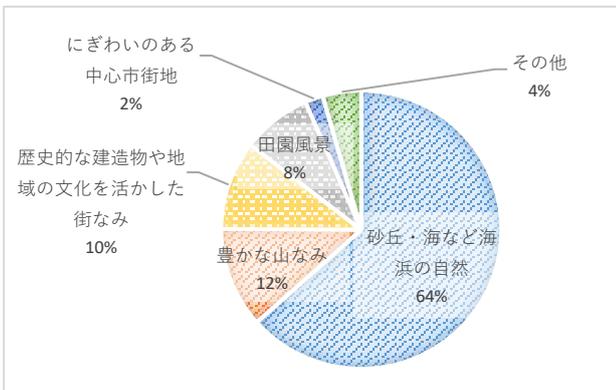
問3 「鳥取市らしい景観」とはどんな景観だと思いますか。

広報モニター



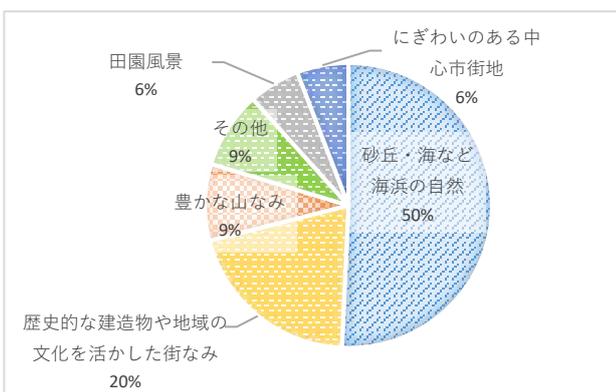
回答	回答数	割合
砂丘・海など海浜の自然	71	81%
豊かな山なみ	8	9%
田園風景	4	5%
歴史的な建造物や地域の文化を活かした街なみ	4	5%
にぎわいのある中心市街地	0	0%
その他	0	0%
合計	87	100%

LINE アンケート



回答	回答数	割合
砂丘・海など海浜の自然	451	64%
豊かな山なみ	84	12%
歴史的な建造物や地域の文化を活かした街なみ	75	10%
田園風景	58	8%
にぎわいのある中心市街地	15	2%
その他	32	4%
合計	683	100%

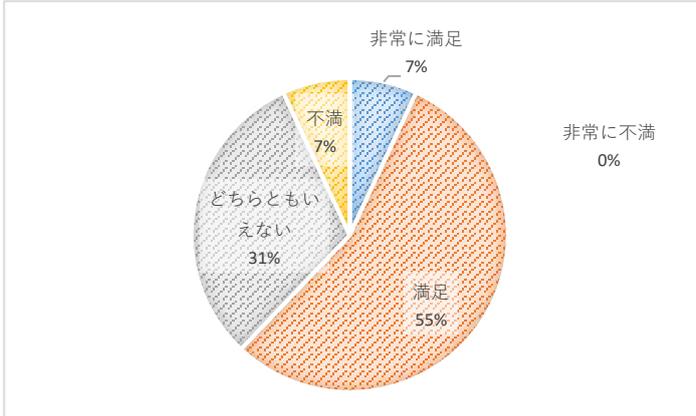
事業者アンケート



回答	回答数	割合
砂丘・海など海浜の自然	18	50%
歴史的な建造物や地域の文化を活かした街なみ	7	20%
豊かな山なみ	3	9%
その他	3	9%
田園風景	2	6%
にぎわいのある中心市街地	2	6%
合計	35	100%

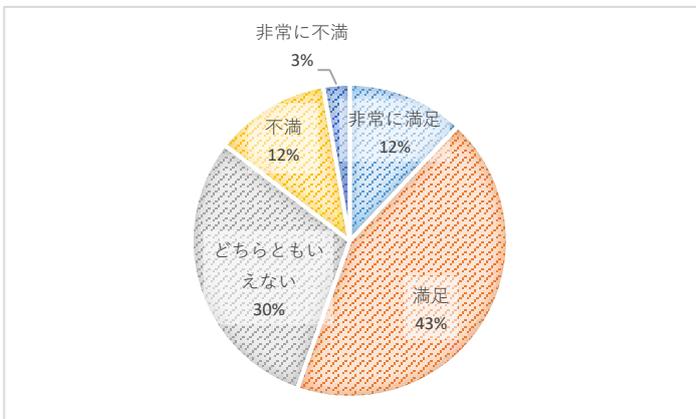
問4 問3で回答した鳥取市らしい景観について、どのように感じていますか。

広報モニター



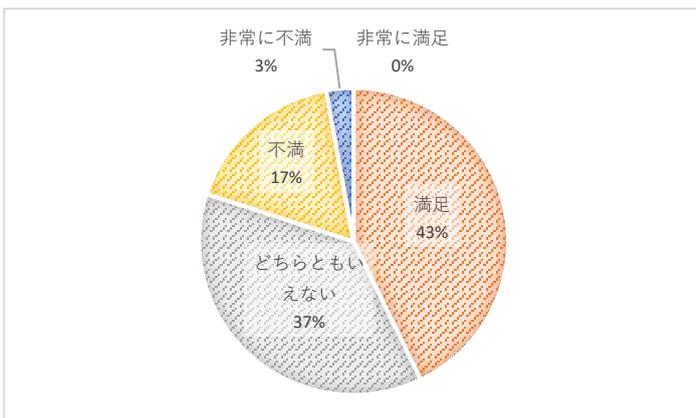
回答	回答数	割合
満足	48	55%
どちらともいえない	27	31%
非常に満足	6	7%
不満	6	7%
非常に不満	0	0%
合計	87	100%

LINE アンケート



回答	回答数	割合
非常に満足	85	12%
満足	314	43%
どちらともいえない	213	30%
不満	84	12%
非常に不満	19	3%
合計	715	100%

事業者アンケート



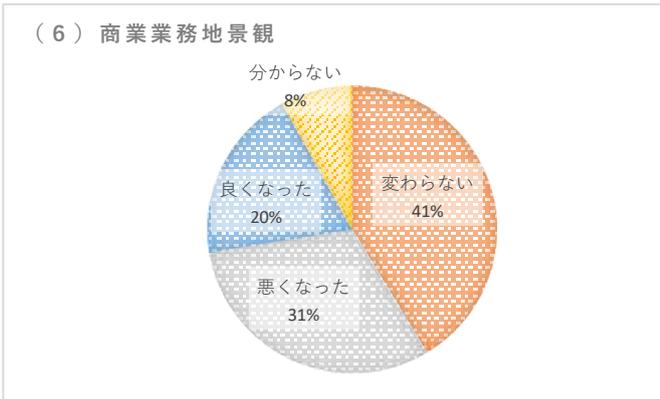
回答	回答数	割合
非常に満足	0	0%
満足	15	43%
どちらともいえない	13	37%
不満	6	17%
非常に不満	1	3%
合計	35	100%

問6 次の景観についてお尋ねします。15年前（2008年・平成20年頃）と比較して現在どのように変化したと感じますか。（画像は参考として、代表的な場所の約15年前の景観です。）

（6）商業業務地景観

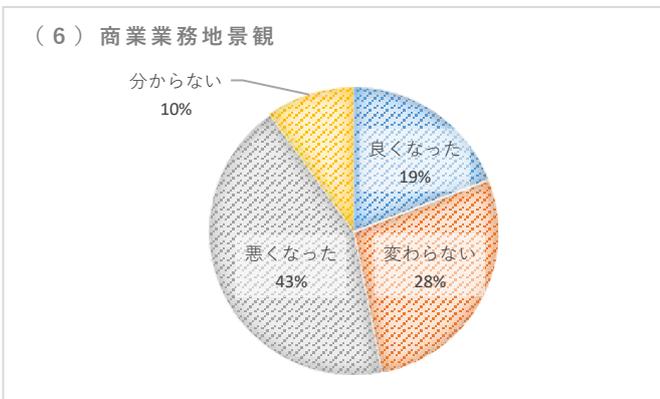


広報モニター



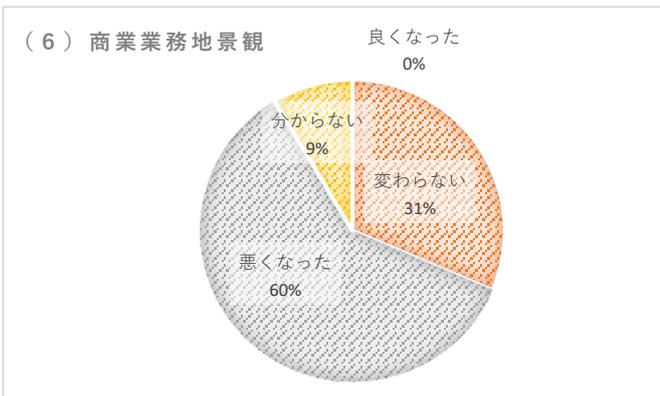
回答	回答数	割合
変わらない	36	41%
悪くなった	27	31%
良くなった	17	20%
分からない	7	8%
合計	87	100%

LINE アンケート



回答	回答数	割合
良くなった	136	19%
変わらない	197	28%
悪くなった	312	43%
分からない	70	10%
合計	715	100%

事業者アンケート

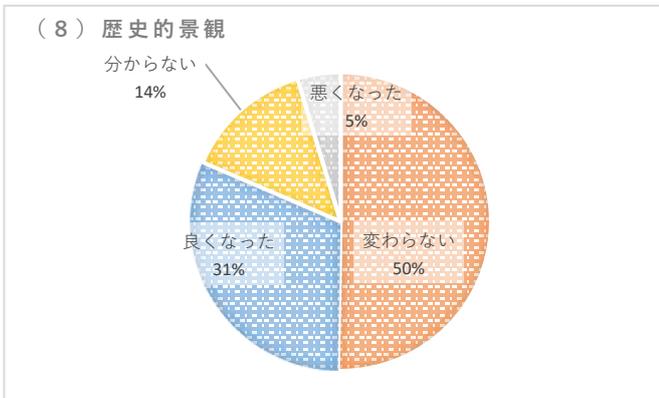


回答	回答数	割合
良くなった	0	0%
変わらない	11	31%
悪くなった	21	60%
分からない	3	9%
合計	35	100%

(8) 歴史的景観

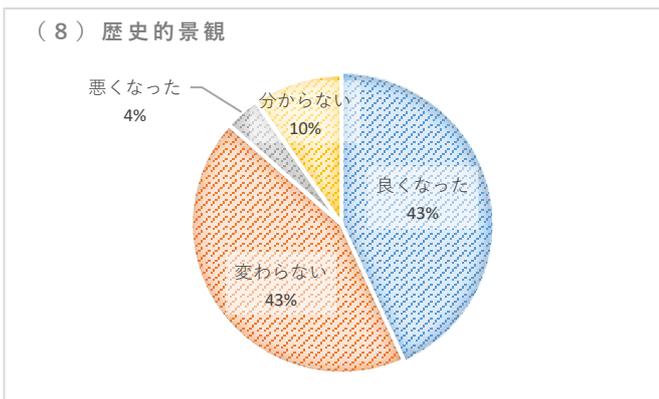


広報モニター



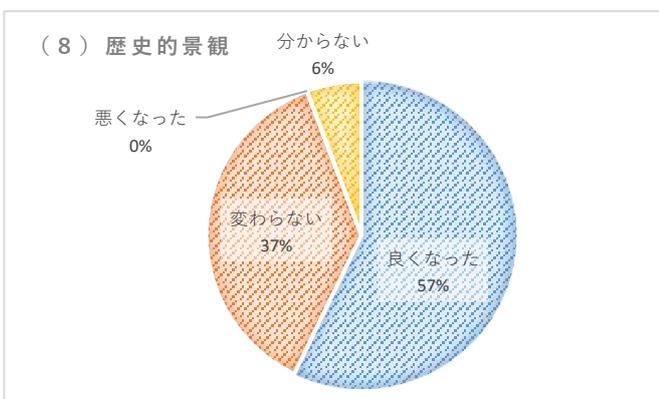
回答	回答数	割合
変わらない	44	50%
良くなった	27	31%
分からない	12	14%
悪くなった	4	5%
合計	87	100%

LINE アンケート



回答	回答数	割合
良くなった	309	43%
変わらない	310	43%
悪くなった	27	4%
分からない	69	10%
合計	715	100%

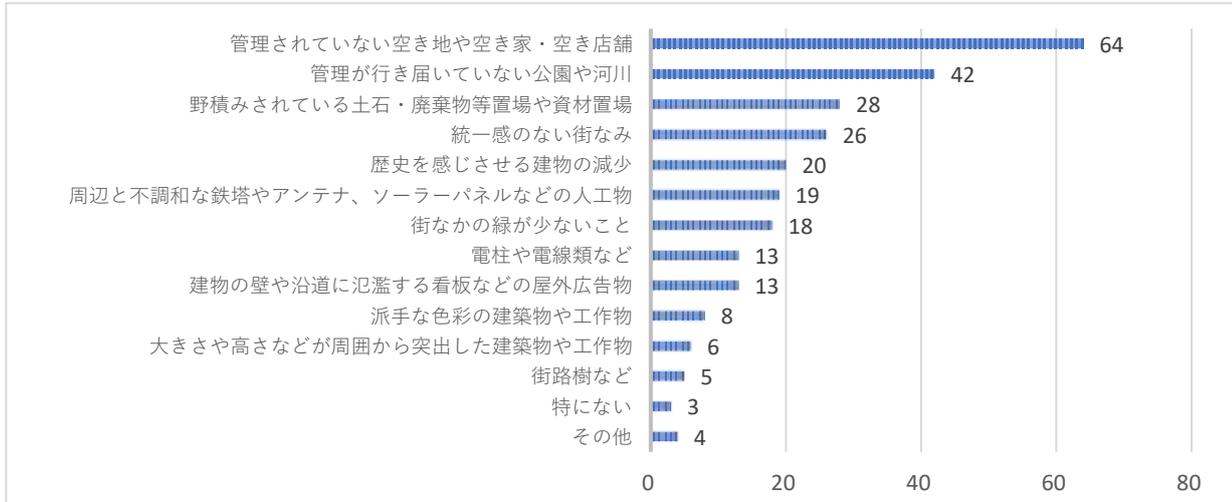
事業者アンケート



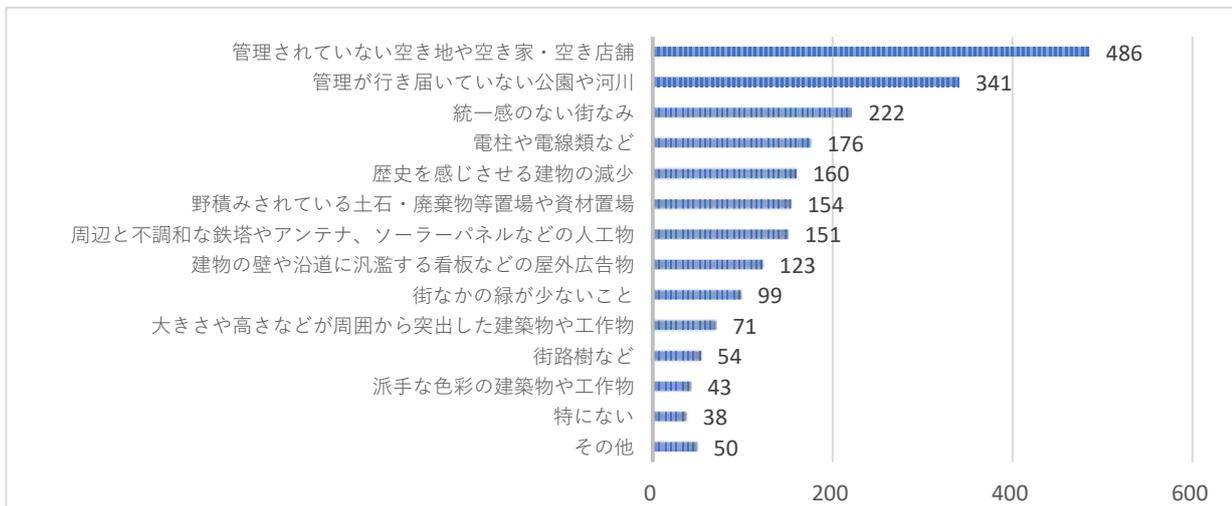
回答	回答数	割合
良くなった	20	57%
変わらない	13	37%
悪くなった	0	0%
分からない	2	6%
合計	35	100%

問7 鳥取市内の景観を阻害していると感じるものがありますか。(複数回答可)

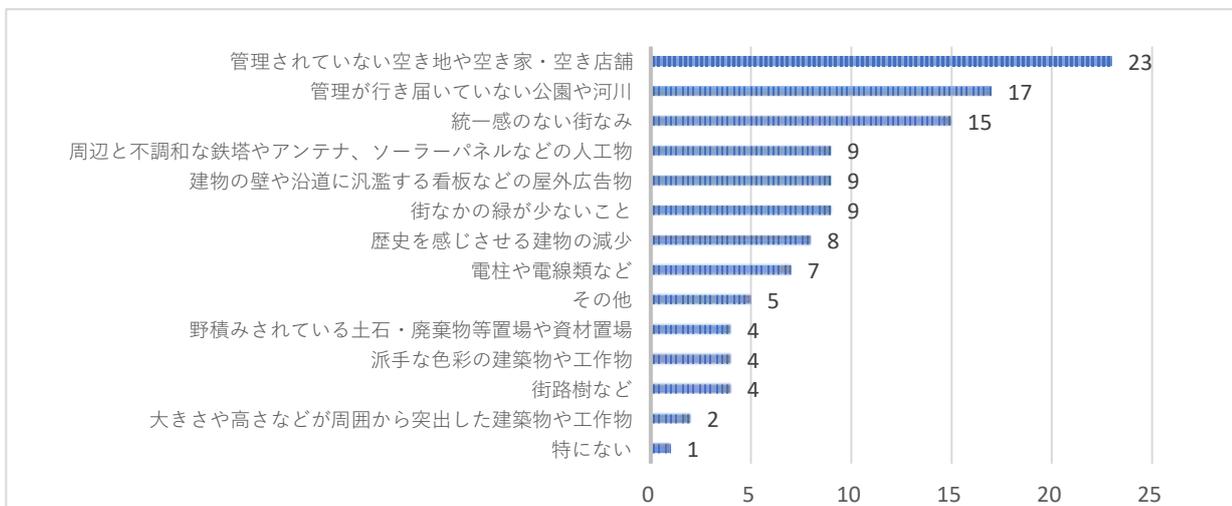
広報モニター



LINE アンケート

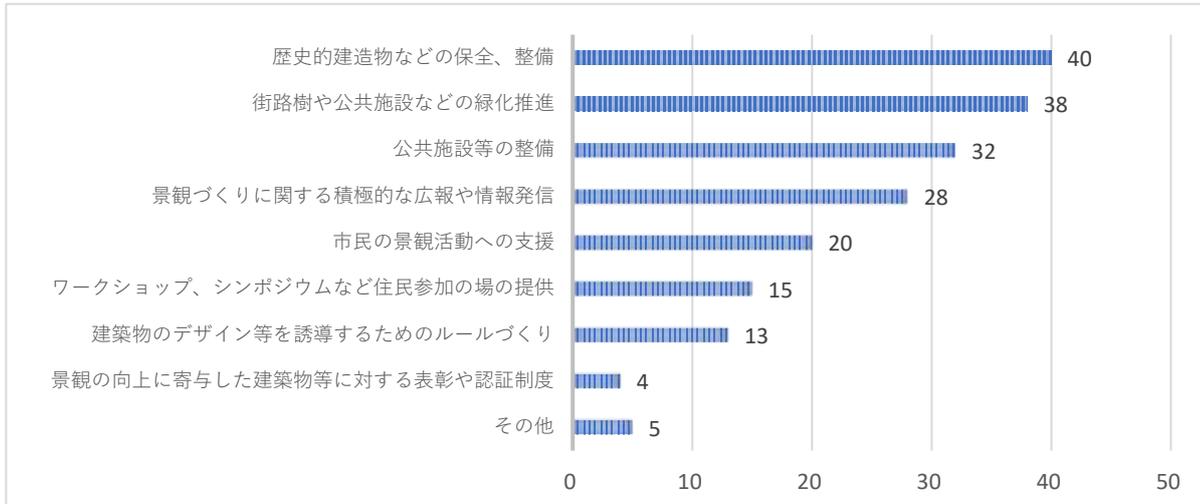


事業者アンケート

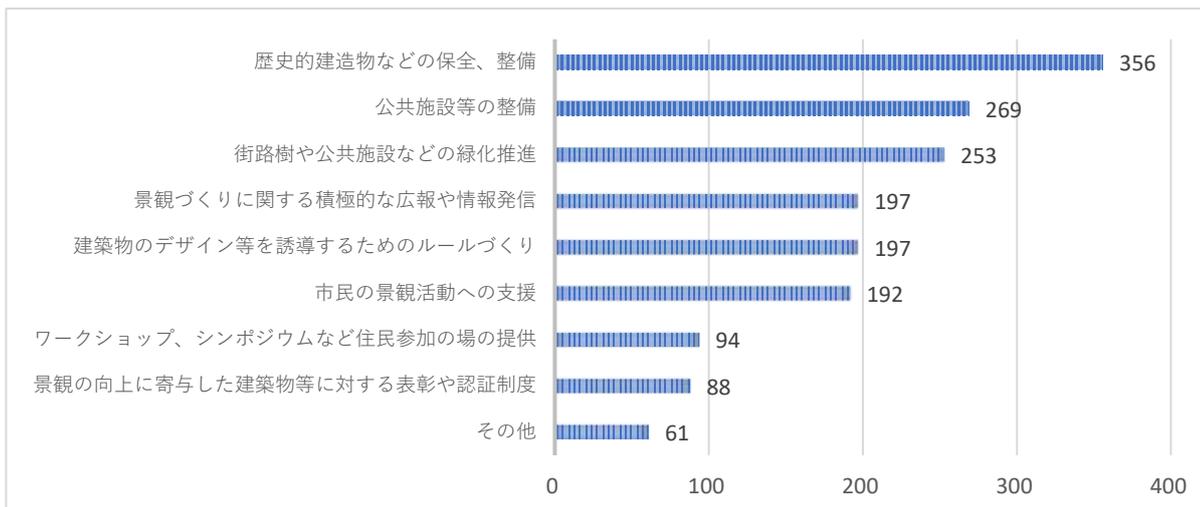


問8 今後、良好な景観形成を進めていくうえで、市にどんな取り組みを期待しますか。
(複数回答可)

広報モニター



LINE アンケート



事業者アンケート

